

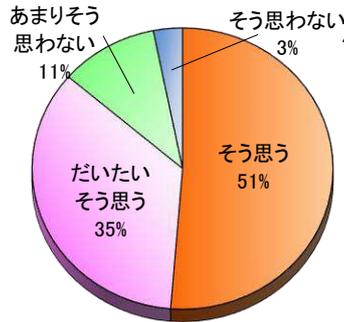
# 【児童アンケート】

児童のアンケートは、自己評価に近い質問形式となっています。市では4年生以上、本校では全学年対象に実施しています。過去6年間、〔総合評価〕では肯定的な評価が、**81%→87%→86%→82%→86%→86%**とおおむね**高い水準で推移しています。**

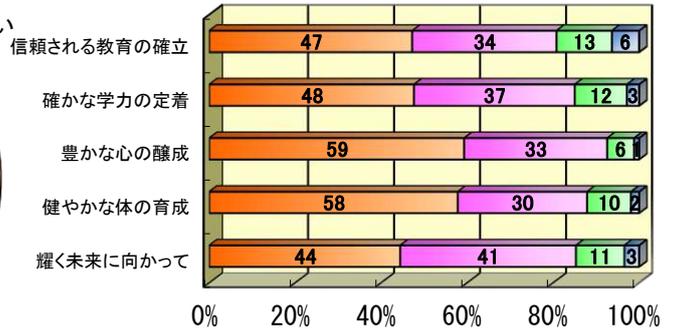
〔評価項目別〕にみると、「授業が分かりやすい」「学んだことを生活で生かしている」など、肯定的な回答の割合が増加している項目が目立つ一方、「**外国語活動**」などは**改善が見られず、課題が残るもの**もあります。

今後も、一人一人の児童に寄り添い、個に応じた指導を重んじて参ります。

総合評価



観点別



■そう思う ■だいたいそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

## 評価項目別

評価項目	5年度	6年度	7年度		
				5年度	6年度
信頼される教育	学校で落ち着いて、安心して生活できていますか。	4=できている 3=大体できている 2=あまりできていない 1=できていない	51 35 10 4	56 35 7 3	57 33 6 2
	楽しく学校生活をすごしていますか。	4=楽しい 3=まあ楽しい 2=あまり楽しくない 1=楽しくない	60 32 7 1	66 25 7 1	64 25 5 1
	困ったことがあったら、相談してみようという大人はいますか。	4=2人以上 3=1人 2=いい 1=いい	63 24 13	66 24 10	56 28 10 2
確かな学力の定着	あなたは、基礎的な学力はついてきたと思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	45 40 13 2	51 34 10 4	55 36 7 2
	授業中や家庭学習の中で、タブレットを使うのは勉強の役に立っていると思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	58 33 7 2	57 31 10 2	56 35 8 0
	授業に、すすんで取り組んでいますか。	4=よく取り組んでいる 3=取り組んでいる 2=あまり取り組んでいない 1=取り組んでいない	33 55 11 1	41 49 9 1	46 43 6 1
	学校の授業は分かりやすいですか。	4=とても分かりやすい 3=分かりやすい 2=分かりにくい 1=とても分かりにくい	40 51 9	46 48 5 1	75 12 7 2
	外国語の授業で、進んで友達や先生と、外国語でコミュニケーションを図っていますか。	4=よく図っている 3=図っている 2=あまり図っていない 1=図っていない	16 44 31 8	37 41 17 4	21 44 27 8
豊かな心の醸成	男女の性別に関係なく、クラスや学校の仲間とせっていると思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	45 39 12 4	52 33 10 6	51 35 7 2
	思いやりの心をもって行動していると思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	35 53 11 1	43 47 10 1	46 41 6 1
	自分や友達を大切にしていると思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	59 38 3 1	66 32 2 1	58 29 7 2
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	75 22 1 2	82 16 1 1	82 16 1 1
	いじめをしないように気を付けたり、見付けたときに、誰かに相談したり止めたりしていますか。	4=している 3=大体している 2=あまりしていない 1=していない	40 42 13 6	46 34 16 4	62 27 6 3
健やかな体の育成	学校で学んだ食事や栄養についての知しきを生活の中で生かしていますか。	4=よく生かしている 3=生かしている 2=あまり生かしていない 1=生かしていない	23 43 28 6	42 38 16 4	38 49 6 6
	学校で、遊んだり体を動かしたりしていますか。	4=たくさんしている 3=している 2=あまりしていない 1=していない	50 34 13 3	55 27 15 3	56 26 11 2
	学校で学んだ安全や健康について、生活の中で生かしていますか。	4=よく生かしている 3=生かしている 2=あまり生かしていない 1=生かしていない	31 50 15 3	42 44 11 3	53 32 8 1
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	4=毎日起きている 3=ほぼ毎日起きている 2=あまり起きていない 1=起きていない	34 50 12 4	42 41 14 4	37 46 11 4
輝く未来に向かって	授業中、話し合う時や発表する時に、すすんで参加していますか。	4=よく参加している 3=参加している 2=あまり参加していない 1=参加していない	35 44 16 5	42 38 17 2	36 39 18 2
	学校で学んだインターネットのルールなどを、生活の中で生かしていますか。	4=よく生かしている 3=生かしている 2=あまり生かしていない 1=生かしていない	30 43 17 10	35 35 17 13	37 42 10 6
	これまでの生活を振り返り、より良くしようと思いますか。	4=とても思う 3=思う 2=あまり思わない 1=思わない	39 47 11 3	51 38 8 3	54 36 4 2
	自分の将来について考えることがありますか。	4=ある 3=時々ある 2=あまりない 1=ない	50 30 13 7	58 22 15 5	51 29 13 6
	「自分の得意なものは何か」「自分に向いているのは何か」考えることがありますか。	4=ある 3=時々ある 2=あまりない 1=ない	35 40 18 7	45 35 12 8	46 35 11 7

# 【児童アンケート結果】より

# 生活習慣・学習習慣に関して

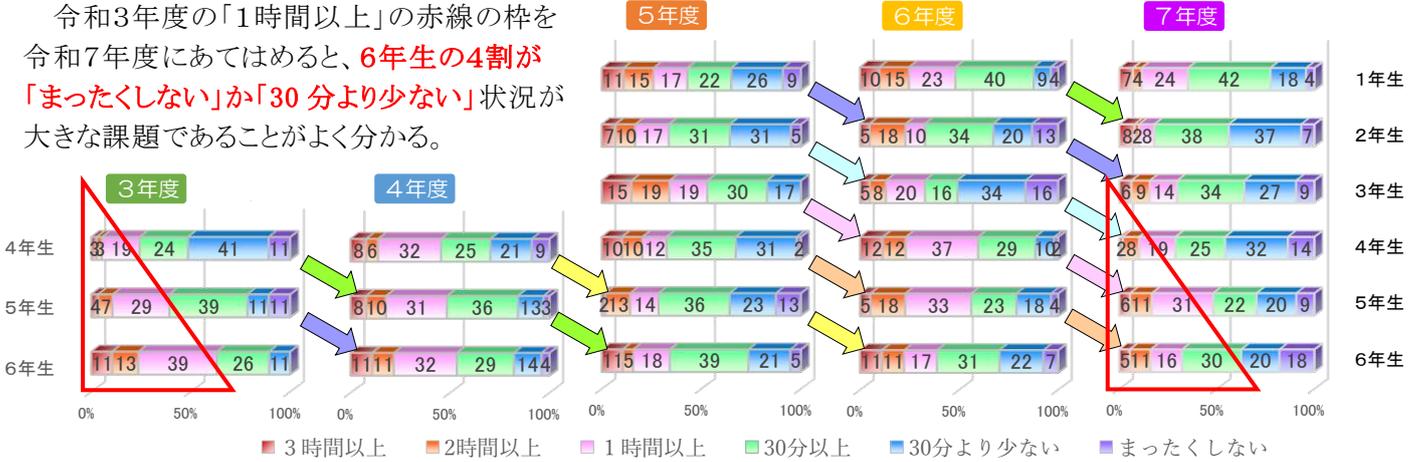
子供たちの健やかな成長には、適度な運動、バランスのよい食事、十分な休養・睡眠が大切です。しかし、**これまでに増して、必要不可欠な基本的な生活習慣が大きく乱れる傾向が強まり、また、個人差が極めて大きいことが気掛かり**です。 \* 令和4年度まで4年生以上、令和5年度からは全学年を対象に実施。

## 学習時間

学校以外で、1日平均、何時間勉強していますか？

令和4年度までは「学年が上がるほど学習時間が伸びていた」が、令和5年度以降は「どの学年も学習時間が短く、学年が上がっても学習時間に変化がなく、むしろ高学年ほど家庭学習が定着していない」状況がある。

令和3年度の「1時間以上」の赤線の枠を令和7年度にあてはめると、**6年生の4割が「まったくしない」か「30分より少ない」**状況が大きな課題であることがよく分かる。

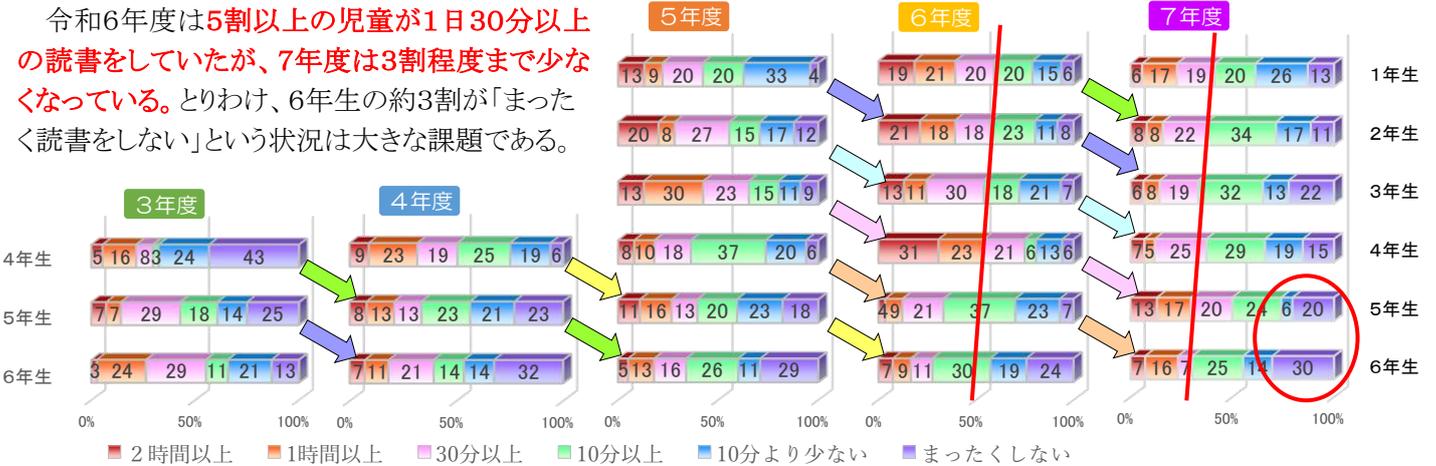


## 読書時間

学校以外で、1日平均、何時間読書をしていますか？

令和2~3年度は「学年が上がるほど読書時間が伸びていた」が、令和4年度以降は逆転し、学年が上がるほど本を読まなくなっている。家庭学習時間の低下とともに、家庭での時間の使い方に改善が必要である。

令和6年度は**5割以上の児童が1日30分以上の読書をしていたが、7年度は3割程度まで少なくなっている**。とりわけ、6年生の約3割が「まったく読書をしていない」という状況は大きな課題である。



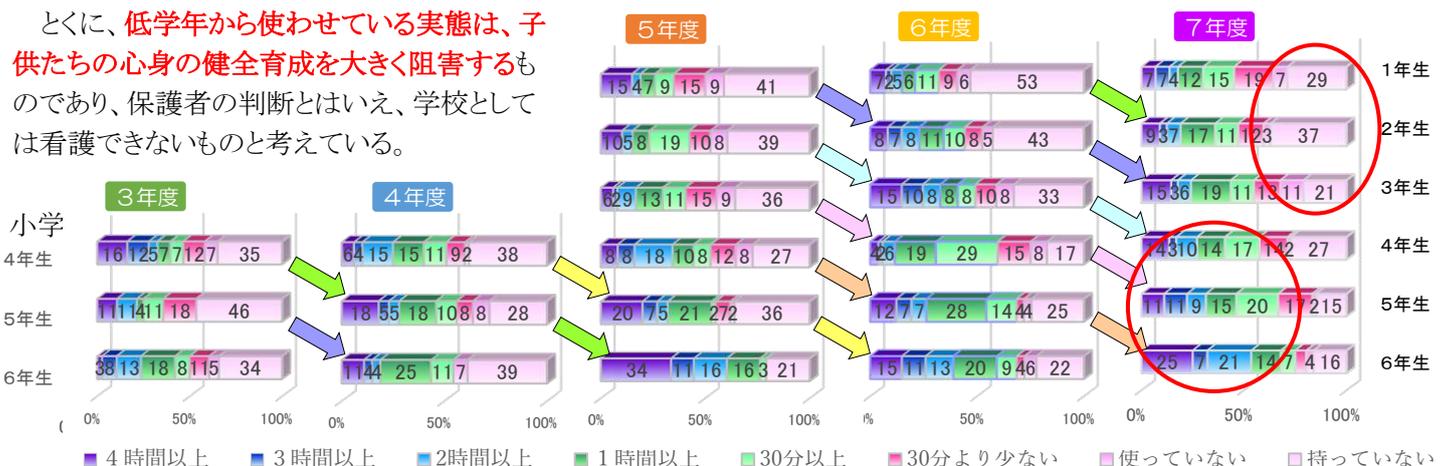
# 「ネット利用」に関して

## 電子機器利用

自分のスマートフォンなどは、1日平均、何時間使いますか？

小学生にとって、「スマホは百害あって一利なし」にもかかわらず、令和3年度以降、スマホ所持率の増加とともに、どの学年も使用時間が長くなっている。**上記の「学習時間」や「読書時間」と関係しており、大いに危惧される状況である。**

とくに、**低学年から使わせている実態は、子供たちの心身の健全育成を大きく阻害する**ものであり、保護者の判断とはいえ、学校としては看護できないものと考えている。

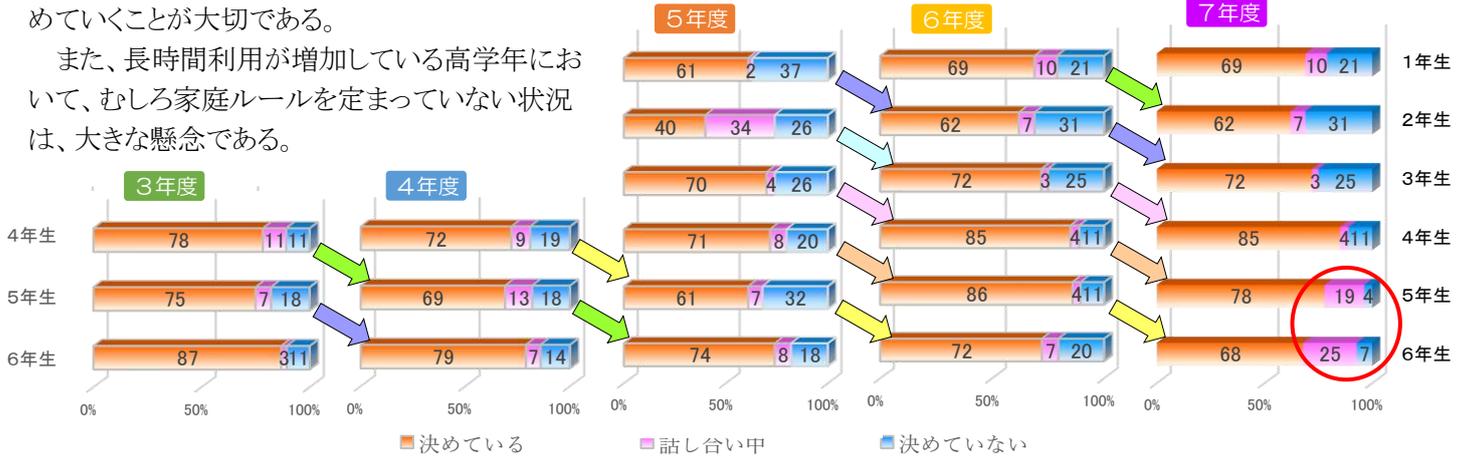


## SNS ルール

インターネットを使うときは、家庭でルールを決めていますか。

どの学年も、**ルールを決めている家庭の割合が上がっている**。しかし、ルールを定めていない家庭も一定数あり、継続して啓発していく必要がある。利用機会の有無に関わらず、情報モラルやルールに基づいて、ネットを安全に使う意識を高めていくことが大切である。

また、長時間利用が増加している高学年において、むしろ家庭ルールを定まていない状況は、大きな懸念である。



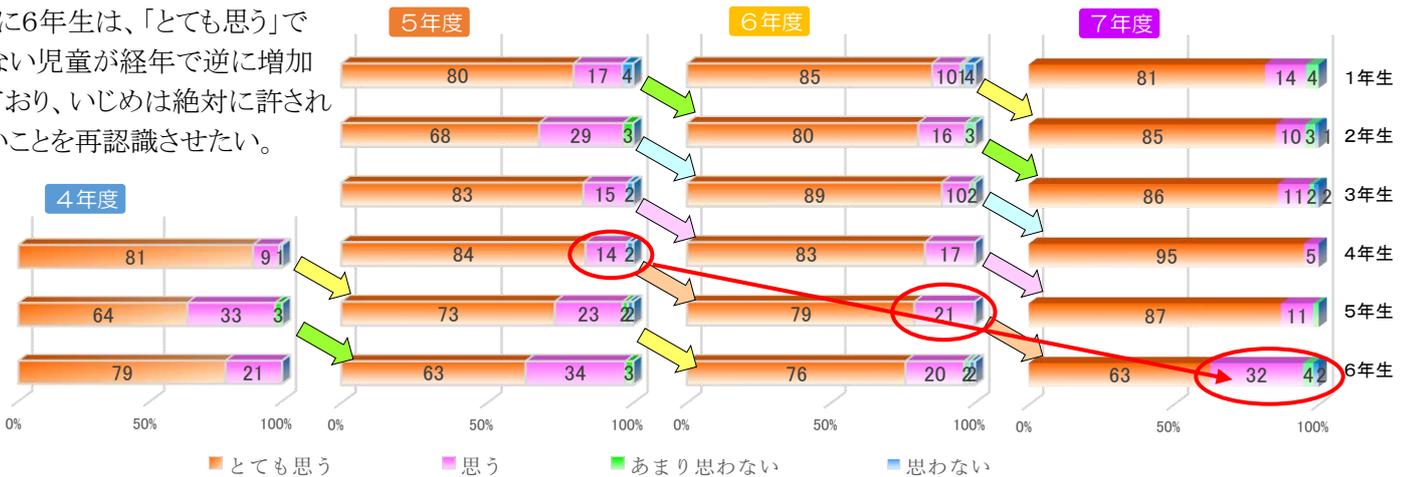
## 「いじめ問題」に関して

### いじめ問題

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

令和4年度から追加された設問である。学校では「いじめは絶対にしてはいけない」「いじめは絶対に許されない」ことをあらゆる機会に子供たちに伝えているが、**100%の児童が「とてもそう思う」と言い切るべきところ、実際約8割にとどまっている**。

とくに6年生は、「とても思う」ではない児童が経年で逆増加しており、いじめは絶対に許されないことを再認識させたい。

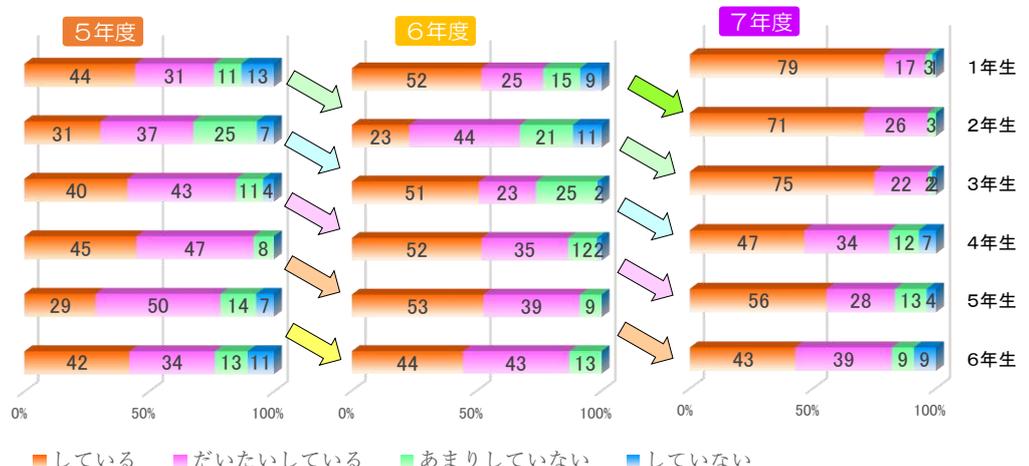


### いじめ対策

いじめをしないように気を付けたり、いじめを見付けたときに、誰かに相談したり止めたりしていますか。

令和5年度から新たに追加された設問である。いじめに気付いた時に、いじめを止めたり、誰かに相談することは、とても重要であり、とても難しいことかもしれないが、**8割以上の児童がいじめ対策に努力していることが伺える**。

今後も、誰もが声を上げられる雰囲気高め、みんなで協力して、いじめを防止していきたい。



保護者・児童・教職員アンケートともに、回答結果が実際の状況と一致しているかどうか、単純に判断できない部分もありますが、常に様々な角度から評価することが大切だと考えます。アンケート結果を真摯に受け止め、これからも学校経営、学校運営の改善に努めて参ります。